



平成30年5月8日

各 位

会社名 アサヒホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 寺山 満春
(コード番号 5857 東証第1部)
問合先責任者 企画部長 澤田 正晴
(TEL 03-6270-1833)

第8次中期経営計画の概要について

当社は、このたび 2018 年度からスタートする第 8 次中期経営計画(2018 年 4 月～2021 年 3 月)を策定し、本日開催の取締役会で決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 第 8 次中期経営計画スローガン

独創性と成長を追求するグローバル企業へ

2. 連結業績目標

	2018 年度 (2019 年 3 月期)	2019 年度 (2020 年 3 月期)	2020 年度 (2021 年 3 月期)
売上収益	1,200 億円	1,300 億円	1,400 億円
営業利益	140 億円	150 億円	160 億円
営業利益率	11.7%	11.5%	11.4%
ROE	14.1%	13.8%	13.5%

- ・ 株主に対する利益還元として、連結純利益の 30%以上をめどに安定的かつ継続的に配当を実施する。
また、2018 年度(2019 年 3 月期)の配当予想は年間 74 円に増配とする予定。

3. 基本方針

- ① 次代を支える新たな事業基盤の構築
- ② 情報処理技術を活かした生産性や働き方の革新
- ③ グループ全社員による新アサヒウェイの共有

4. 重点施策の要旨

【基本方針①】次代を支える新たな事業基盤の構築

(1) 各事業セグメントの5年後のゴールイメージ

第8次中期経営計画は2018年度から2020年度の3か年計画であるが、創業70年を迎える5年後の飛躍を見据えた計画とする。各事業セグメントの5年後のゴールイメージは次の通り。

<貴金属事業セグメント> 貴金属精錬分野で世界ナンバーワン企業へ

当社グループの中核的事业であり、より高品質・低コスト・高効率の処理精製工程を確立することにより、市場競争力を一層強化する。また、付加価値の高い貴金属製品の生産と販売を実現し、精錬事業との間で当社独自のユニークな相乗効果を追求する。グローバル市場を対象に貴金属製品の生産・販売の領域を拡げることで、アサヒブランドを確立する。

<環境保全事業セグメント> 国内環境ビジネスのリーダー企業へ

当社グループの安定成長事業として、収益性を見極めつつ、中間処理能力の増強を行う。また、多様なリサイクル技術と無害化処理技術を通して、一層の適正処理・低コスト・環境負荷軽減を実現し、経営規模と品質の両面において特徴のある地位を確立する。

<ライフ&ヘルス事業セグメント> 健康関連ビジネスの世界ナンバーワンブランドへ

当社グループの新規成長事業として、顧客ニーズを的確に捉えた商品開発や独自のビジネスモデルの構築によって、事業を拡大させる。また、主力のマッサージチェアを中心にメイドインジャパンの高い技術とクオリティで海外市場にも積極的に展開する。

(2) 無形資本の充実

事業環境の変化に対応し、グローバルに活躍できる人材をより多く生み出すため、人的資本への投資を積極的に行う。また、「技術のアサヒ」の伝統を継承し、知的財産を組織内で創出することを目的に、AI等を駆使した新たな技術への開発にも積極的な投資を行う。

【基本方針②】情報処理技術を活かした生産性や働き方の革新

AI、ロボティクス、IoT、フィンテック、画像認識などの最新の情報処理技術を調査研究し、長期的な視点で業務を革新する。

【基本方針③】グループ全社員による新アサヒウェイの共有

事業拡大と事業ドメインの変化をふまえて改定した新アサヒウェイをグループ全社員に浸透させる。

アサヒウェイ (2018.4.1 改定)

“この手で守る自然と資源”

「わたしたちの信条」

わたしたちは、限りある資源を大切に、地球の環境を保全し、人々の健康をサポートします。

「わたしたちが企業として大事にすること」

(1) ステークホルダーとの協調

株主・顧客・取引先・社員・地域社会・自然環境に配慮し、信頼が得られる活動を実践する。

(2) 攻めと守りのバランスがとれたコーポレートガバナンス

意思決定の透明性を確保し、リスクを適切に管理しながら、成長戦略や事業改革を果敢に推進する。

(3) 利益なくして成長なし

企業グループ全体の成長と利益を通して、長期的な株主価値の向上を実現する。

(4) 信頼されるコーポレートブランド

クリーンな企業グループであると広く認知され、長く信頼されるブランドを維持する。

(5) さまざまなリスクへの対応

職場の日常の安全性の確保や業務事故の防止を徹底し、各種災害への備えを確立する。

(6) 社員のモラル向上

社員の仕事と生活全体との調和を重視し、働く環境や労働条件を継続的に向上する。

(7) 強い使命感と高い倫理観

社員一人ひとりが仕事に誇りを持ち、幹部社員は強い使命感と高い倫理観を持つ組織とする。

(8) グッド・ピープル・カンパニーの継承

善なる社員を長期に亘って大事にする。

善なる社員とは、利己主義的ではなく、自他の共栄と事業の発展を願う社員である。

「わたしたちが社員として心がけること」

(1) 革新と挑戦

(2) 安全最優先

(3) 高い品質の保持

(4) 素早い報告(特に悪い情報こそ早く報告)

(5) 信頼と絆

「アサヒホールディングスグループ 10 の規則」

(1) いかなる法令や規範にも違反しない

(2) 社会通念や自己の良心に反することを行なわない

(3) 年齢・性別・国籍・人種・宗教などに基づく差別を行なわない

(4) 業務に関連した場所で、政治活動や宗教活動を行なわない

(5) お客様に不誠実な対応をしない

(6) 取引先の決定において、公平な競争や最適な選定を妨げない

(7) 業務上知りえた情報を外部に漏洩しない

(8) 個人的な利得につながる食事や贈答品を提供しないし、受け取らない

(9) 個人や自ら所属する組織より全体最適を優先する

(10) 現場・現物・現実を重視する

【本資料に関する注記事項】

本資料における業績目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、さまざまな不確定要素が内在しております。実際の業績等は様々な要因により本資料記載のものと異なる可能性があります。

以上